

## コーヒーが作る「人の輪」 私の淹れた「味」をどうぞ

東北支部事務所長 氣仙浩一



東北支部から2回目のメールになりました。  
ことし一年、みどりのきずな・仙台共生の森植樹、九州支部との交流会、仙台での理事会開催、支部主催行事など例年以上に盛りだくさんに無事終えることが出来ました。これも会員・関係団体、商社の皆様の協力があつてこそと感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

東北の秋は寒いです。東向きに大きな窓がある支部事務所は朝陽

がさして、ちよっぴり暖かいのですが、午後になるとぐっと室温が下がります。

そんな支部事務所での日課についてお話ししましょう。

朝、誰もいない部屋に小声で「おはよう」と言つて中に入り、新聞を支部長の机の上に置き、ポットの水を替えて業務開始です。メールをチェックし、留守電の確認となります。

その後、絶対に欠かせないモーニングコーヒータイムとなり自慢のペーパードリット

プーヒーを淹れます。水道水はペ

ットポットで一日寝かせて

あり、コーヒー豆

はK店で店員に勧められた

今月のお勧めコーヒーが用意してあります。200g600円前後のコーヒー



を紙フィルター用に挽いて貰い購入。私はどちらかと言えば酸味が少しあるグアテマラ、メキシコなどを好んで飲みますが、今回はフルーティな香りで酸味があるコーヒーで何となく気持ちが悪くなります。

集まりが数人の時は、谷口支部長が昨年購入してくれた3段階濃度調整のできるコーヒーメーカー「珈琲通」を使いますが、少人数の時は一杯用のフィルターにポットのドリット機能でお湯をそそぎます。温度は98度以下が良いようです。

コーヒーを淹れる時の軽い緊張感、そして芳醇な香りが何とも言えません。体調により、香り・味覚の感じ方が違うし、全く同じ味はなく毎日が新鮮で、コーヒーマイスターに変身する時間でもあります。

当然支部事務所に来られるお客様にもコーヒーをお出ししますが、私がコーヒー好きと



「仙台共生の森」の植林の手入れをする氣仙事務所長

知り、コーヒー豆を買ってきてくれる方もおり、コーヒーを通じて話が弾みます。ちなみにコーヒーは肉体的にも精神的にも効用のある飲み物（ブラックスの場合）です。  
一杯のコーヒーでおもてな・し、一期一会の心で淹れるよう心掛けていますので、ぜひ一度支部事務所に「来てけらいん」。百聞は一杯に如かずです。